

議会 だより

平成28年
第2回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

平成28年田原本町議会「第2回定例会」が6月2日から9日まで8日間の日程で開かれました。開会日の6月2日には森町長が提出議案について説明。慎重に審議が行われ、6月9日に閉会しました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○平成27年度田原本町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

情報セキュリティ強化対策事業ほか13件について、総額4億8366万7320円を繰り越したものを

○平成27年度田原本町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

公共下水道事業ほか1件について、総額6100万円を繰り越したものを
○平成27年度田原本町介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告
介護保険システム改修事業について134万1360円を繰り越したものを

《承認した案件》

○平成28年度田原本町一般会計補正予算（第1号）の専決処分の報告（賛成多数）

幼稚園3園（田原本・南・平野）7棟の耐震補強工事を施工するための実設計業務にかかる委託料を計上するもの

○田原本町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告（全員賛成）

地方税法等の一部を改正する等の法律の公布により、固定資産税における再生可能エネルギー発電設備に対する減額特例の追加、省エネ改修を行った家屋に対する税額の減額手続における申請項目の追加、軽自動車税におけるグリーン化特例の適用期限の延長及びたばこ税等について条文の整備をするもの

○田原本町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告（全員賛成）

地方税法の改正に伴う引用条文の

整備をするもの

○田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の報告（全員賛成）

地方税法施行令の改正にあわせ、国民健康保険税の医療分及び後期高齢者支援金分の課税限度額を引き上げるとともに、軽減対象世帯の拡充を図るため改正するもの

《可決した案件》

○平成28年度田原本町一般会計補正予算（第2号）（賛成多数）

町ホームページのリニューアル業務の委託料、高齢者保健福祉計画及び第7期介護保険事業計画策定に要する経費、現清掃工場解体工事の発注仕様書作成委託料、観光アプリ、ビデオ作成等に要する経費、幼稚園園舎耐震補強工事に要する経費、田原本幼稚園での一時預かり事業のモデル事業実施に要する経費、唐古・鍵遺跡出土品保管のための収蔵庫設置、唐古・鍵考古学ミュージアムリニューアル工事に要する経費、唐古・鍵遺跡のイメージキャラクターである「楼閣くん」のキャラクター商標登録及び唐古・鍵遺跡の小学校児童用副読本作成に要する経費を増額等するもの

○平成28年度田原本町水道事業会計補正予算（第1号）（全員賛成）

磯城郡3町の水道事業を広域化し、効率的な事業運営を図るための調査である広域化事業計画作成に対する負担金及び損害賠償金等を増額補正するもの

○田原本町議会の議決すべき事件に関する条例（全員賛成）

定住自立圏形成協定の締結もしくは変更又は廃止を求める旨の通告に関することを議会の議決事件とするため、新たに制定するもの

○田原本町埋蔵文化財センター設置条例（全員賛成）

現在の文化財保存課事務所を調査・研究の拠点とする埋蔵文化財センターとして位置づけ、展示公開する唐古・鍵考古学ミュージアムと出土品を保管する収蔵庫を分室とするもの

○田原本町附属機関に関する条例の一部を改正する条例（全員賛成）

田原本町中学校給食検討委員会での調査及び審議が終了したことに伴い、当委員会を廃止するもの

○公共下水道整備等工事（特）第281号の請負契約締結について（全員賛成）

富本地内において、下水道工事と上水道工事を契約金額5074万5600円で、株式会社堂浦土木と、工事請負契約を締結するもの

○財産の取得について（賛成多数）

田原本町交流促進施設（道の駅）建設事業の用地について、田原本町土地開発公社で先行取得済みの土地6313・04平方メートルと地上権設定の土地730・38平方メートルを取得するもの

○損害賠償の額の決定について（全員賛成）

水道業務によって発生した浸水による損害を賠償するもの

《同意した人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて
氏名 大橋勉氏

任期 平成29年1月1日から
平成31年12月31日

《採択された意見書》

第2回定例会で採択された意見書は左記のとおりで、関係団体へ提出しました。

○次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書（賛成多数）

提出議員 古立憲昭議員

《総務文教委員会》

質問 平成28年度田原本町一般会計補正予算（第1号）の専決処分報告及び平成28年度田原本町一般会計補正予算（第2号）について、今回予定している幼稚園の耐震補強で安全基準（IS値0・7）以上になるのか。

回答 「崩落・倒壊の危険性が高い」とされるIS値0・3未満の園舎を早急に補強するもので、対象は田原本幼稚園4棟、南幼稚園2棟、平野幼稚園1棟で本年夏休み中に工事が完了し、IS値0・3を上回ることを条件としている。来年度以降、計画的に0・7以上を確保する工事を実施したい。

質問 田原本町議会の議決すべき事件に関する条例について、これまで定住自立圏構想については否定的であったが。

回答 近隣市町との連携は町長の公約であり、観光、企業立地、公共施設の相互利用等について、天理市を中心とする定住自立圏構想に参加し魅力あるまちづくりに取組みたい。

《厚生建設委員会》

質問 平成28年度田原本町一般会計補正予算（第2号）について、作成する観光ビデオの活用はどのように

考えているのか。

回答 田原本駅前観光ステーション、整備中の交流促進施設（道の駅）、リニューアル工事中の唐古・鍵考古学ミュージアム等での活用を検討中であり、加えてYouTubeでも発信したいと考えている。

担当課から報告

交流促進施設（道の駅）の建設概要について、配置計画や施設の概要について報告を受けた。



▲交流促進施設（道の駅）完成予想図

《唐古鍵遺跡整備検討特別委員会》

担当課から報告

唐古・鍵遺跡整備工事の進捗状況・今後の事業スケジュールについて、平成29年度以降は、国庫補助金

の確保が懸念されることから、平成30年度の開園予定時は、部分的に開園することを前提に、開園後も引き続き、整備を進めることとしたい旨の報告を受けた。

また、公園の隣接地で、自転車での来園者用駐輪スペースやイベント時には駐車スペースにも活用できる多目的広場の整備の検討を進める旨の報告を受けた。

《清掃工場建設検討特別委員会》

担当課から報告

本年3月に「やまと広域環境衛生事務組合議会第1回定例会」が開催され、平成28年度一般会計予算などが審議され、原案可決された。また、本組合が施工している新ごみ処理施設建設工事について、建物部分について約60割、プラント部分については約40割、全体として約49割の進捗状況である旨の報告を受けた。



議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、9月上旬に開催します。

問い合わせ先

議会事務局（☎34・2119）



各委員会審査の状況

（質疑から抜粋）

町政を問う



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

辻 一夫 議長

台風の時期になりました。本町では、昭和57年の台風10号等による大和川決壊や平成10年の台風7号の暴風により大きな被害を受けました。「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」ということわざがありますように、台風や地震など天災は、いつやってくるかわかりません。町議会といたしましても、防災対策の一層の充実強化を図り、住民皆様の安心・安全の確保に全力を尽くしてまいります。さて、6月定例会では8名の議員から一般質問があり、また意見書1件と議案13件について、慎重に審議いたしました。

吉川 博一 議員

唐古・鍵遺跡史跡公園の駐車場については、公園北西部に建設予定の交流促進施設（道の駅）の駐車場を利用する予定となっております。しかし、利用には交通量の多い国道24

号線を横断する必要があるため交通事故が懸念されます。特別委員会では史跡公園の隣接地に、多目的広場の整備（自転車の駐輪スペースやイベント時には駐車スペースに活用できるもの）の検討を進める旨の説明がありました。来園者に、より安全に史跡公園に来ていただくことができるよう期待しています。

牟田 和正 議員

唐古鍵遺跡公園整備の現況を直接見たいと考え事前に現地を訪れました。公園は24時間誰でも自由に出入りできることや大きな池があることから、安全面・防犯面の配慮も必要と考え、特別委員会では、安全面での取組み、夜間の防犯の取組み等について質問し、十分な計画性を持つて進めるよう求めました。また、近接する交流促進施設（道の駅）の建設概要、イベントや駐車場として活用できる多目的広場の整備検討について説明を受けました。議論を尽くし、多くの皆様に喜んでいただける公園となるよう取組んでまいります。

阪東 吉三郎 議員

「やどかり市」では町内外から多くの来訪者があり、歩行者と自動車等との事故が危惧されました。次回開催時には安心して来訪者を迎え

られるように自動車等の通行規制を求め、町からは警察署、地元自治会や関係団体と協議して進めていくとの回答を得ました。次に熊本地震を教訓として平成26年に修正された町の防災計画では不備なところもあるため点検・修正する必要があるか尋ね、新たな課題も出てくることも考えられるため県の防災計画の修正を参考にしながら町の防災会議で検討すると回答を得ました。

森井 基容 議員

厚生建設委員会において、6議案の説明を受けましたが、特に交流促進施設（道の駅）の用地取得について、契約内容について質問及び確認をしました。また、用地のうち、三分の一度は、国の施設として整備されるため、国に売却するとの説明も受けました。

唐古鍵遺跡整備検討特別委員会においては、現状の経過報告を受けました。工事期間外について、散策されている姿をよく見かけ、微笑ましい状況ではあるが、万が一の事故防止のため注意書き等の看板設置を提案しました。

安田 喜代一 議員

定住自立圏構想に基づく「中心市宣言」を行った天理市と山添村・川

西町・三宅町が構成する「大和まほろば広域定住自立圏」への参加に向けた条例が上程され議決されました。今後、天理市と少子高齢化、人口減少等の問題をふまえ、福祉・土木・教育・医療・交通等各分野から連携していく政策の協議が行われ、議会に定住自立圏の形成に関する協定書案が提案される予定です。

国の財政措置もあり、観光や企業立地等の産業振興、公共施設の相互利用等、広域での連携・協力により地域の活性化が期待できることから賛成しました。

森 良子 議員

清掃工場建設検討特別委員会では、来年4月の完成に向けて御所市に建設中の新ごみ処理施設建設工事の進捗状況は49%との報告を受けました。この施設の建設に係りして健康増進施設を建設する予定で、その風呂部分について本町は1億3千万円負担することになっているが、町長からランニングコストも負担していかねばならないだろうとの話。私は住民が一番心配している状態と指摘。支出を抑えるためどのような努力をされるのか？と問うと、貴重な税金であり、負担増とならない様に取組んでいくとの町長の答弁でした。

古立 憲昭 議員

一般質問より、①国民健康保険の都道府県単位について、県と町の役割と保険料そして統一化に向けてのスケジュールを問う。②幼稚園での預かり保育について、具体的な実施要領と実施までのスケジュールを問う。③学校の耐震及び暑さ対策について、建物以外の天井や窓ガラスなどの非構造部材の安全性を問う。また暑さ対策は昨年の状況から対策を聞き、クーラー設置の可能性を問う。意見書では、次期介護保険制度における福祉用具、住宅改修の見直しに対し検討を求める意見書を提出、賛成7、反対6で可決され国に提出。

西川 六男 議員

震度6の地震で「崩落・倒壊の危険性が高い。崩落の危険性がある」IS値0・6以下の園舎が幼稚園全11棟の内10棟(90%)もあり、園児の安全の為に一日も早く対応する事を今回も要求しました。

町は「崩落・倒壊の危険性が高い8棟を夏休みにIS値0・3以上まで耐震補強し、来年度0・7以上まで工事をする」と答えました。

しかし0・3は「崩落・倒壊の危険性が高い」と国が指摘する値で、耐用年数38年を過ぎた築後55年の園

舎もあり、運動場に仮園舎を建てるなどして、補強よりも認定子ども園の実施も考慮し、建て替える事を強く要求しました。

竹邑 利文 議員

中学校給食に関して基本設計業務を委託し早期実現を目指します。幼稚園の耐震補強工事を夏休み中に施工します。大地震の発生が予知できない為、災害等に備えて3万2千人の町民の生活力を維持するためにも「業務継続計画」を早急に策定するよう強く求めた。本町は女性管理職の割合が低く女性管理職の誕生できる土壌づくりに、また、積極的に活躍できるように取組んでもらいたい。役場の縦割り行政も弊害のなきように。町長の公約の実現にも向けて「前進する田原本」に議会も協力してまいりたいと思料します。

吉田 容工 議員

やまと広域環境衛生事務組合の地元協定書に「広く市民に利用していただける、健康増進を目的としたサービスを提供できる施設を建設する」と明記されています。ラグビーのゲストハウスをつくるという噂があったので、新町長がどこまで理解されているか？質すと、「具体的に聞いてないが、地元同意の条件であ

り、必ず履行しなければならぬ。本町の負担額は、現時点で把握できない」と答えられるとともに、「ラニンングコストも負担する」とこれまでになかった答弁も出てきました。住民のみなさんの心配が現実に：

植田 昌孝 議員

今期定例会では、田原本町清掃工場の撤去と跡地利用について、解体時期や解体費用、跡地の利用について一般質問を致しました。今年度補正予算で設計業務委託し、解体工事は平成31年度着手予定を前倒しし、平成29年度から着手予定で、解体費用については御所市クリーンセンターの解体と同程度の約3億1700万円を見込んでおり、跡地の利用については地元自治会や町全体のまちづくり施策の中で検討し有効活用に取り組むとの答弁でした。地元自治会と十分に協議され、早急に跡地が有効活用されることを期待致します。

松本 美也子 議員

一般質問では、熊本地震を教訓に「防災計画・体制の点検について」、住民による「避難所運営マニュアル」の策定及び避難所ごとの避難訓練の実施についてと福祉避難所のケア体制の機能についての2点と、平成28

年4月1日施行の「障害者差別解消法」についての本町の取り組みについて」を質問。唐古鍵遺跡整備検討特別委員会では、ふるさと納税の返礼として「唐古鍵遺跡史跡公園開園記念切符」(仮称)を発行し、町めぐり町旅の周遊券により本町に足を運んでいただく企画を提案させていただきました。

小走 善秀 議員

地方創生のまちづくりについて一般質問をしました。①県とのまちづくり連携協定が進んでいない中、その考え方について質したところ、締結について、県と協議していく旨回答。②駅周辺、旧町のまちづくりについて、旧町平野長泰の陣屋、商都田原本を偲ばせる、古い町並み、屋敷を保存・活用し観光地化することについて質し、重要な課題で検討も必要である旨回答。③「テレワーク」フルタイムで働けない子育てのお母さん等、多様な働き方ができる制度を、空き店舗等利用の活用を質し、検討の回答がありました。

審議内容を見ることができません

町ホームページに、本会議会議録(平成19年第1回臨時会から平成28年第1回定例会まで)を掲載しています。